

高校公民プリント（過去問類似）

青年期と現代社会 No.7

名前

得点

/10

問1 「紛失した漫画の1冊だけが欲しいが、そのためだけに高額な10巻セットを買う出費は避けたい」というように、同一の対象に対して望ましい側面と避けたい側面が同時に存在し、選択に悩む精神的状態は、ある心理的現象の分類において何型と呼ばれるか。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. 回避—接近型 2. 回避—回避型 3. 接近—回避型 4. 接近—接近型

問2 現代社会の諸課題を追究する際、収集したデータを適切に表現することが求められる。例えば、ある国におけるエネルギー源別の発電電力量の割合など、全体に対する各内訳の構成比率を視覚的にわかりやすく表現するのに最も適したグラフの名称を答えよ。 (2014年 全国公立入試 類似)

1. 円グラフ 2. 帯グラフ 3. 棒グラフ 4. 面グラフ

問3 現代日本の社会において、人々の価値観が「物の豊かさ」から「心の豊かさ」へと変化していく様子などを捉える「国民生活に関する世論調査」を実施している、内閣の重要政策に関する企画立案や総合調整を担う国の行政機関はどこか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 内閣府 2. 総務省 3. 外務省 4. 財務省

問4 ドイツの哲学者・心理学者が提唱した性格類型において、他者への愛や奉仕、社会的な貢献を最も重要な価値として追求するタイプは、6つのタイプのうち何型と呼ばれるか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 経済型 2. 社会型 3. 理論型 4. 審美型

問5 欲求不満が生じた際、無意識のうちに自己を守ろうとする防衛機制のなかで、「好きな異性に対して、自分の好意を隠すために、わざと意地悪く接したり冷たい態度をとったりする」というように、本心とは正反対の態度を強調してとる行動パターンに該当するものを何とよいか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 退行 2. 昇華 3. 反動形成 4. 同一化

問6 「月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり」という言葉で知られ、旅を人生そのものと捉え、自然や他者との出会いを通じて、変化する流行の中に不変の真理を見出す「不易流行」の境地を追求した、江戸時代の俳諧師は誰か。 (2020年 全国公立入試 類似)

1. 葛飾北斎 2. 松尾芭蕉 3. 井原西鶴 4. 与謝蕪村

問7 ドイツの社会学者マックス・ウェーバーが提唱した概念で、社会科学の研究において、研究者個人の主観的な価値判断や政治的・倫理的な信念を研究プロセスから排除し、客観的な事実の分析に徹するべきであるとする態度を何とよいか。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 価値判断 2. 実証主義 3. 価値関係 4. 価値自由

問8 カントの倫理学において、道徳的な義務を果たすことよりも、自らの恐怖の回避や心の平穏といった主観的な欲求を優先し、結果として他者を蔑ろにしてしまうような行為の動機や姿勢を何とよぶか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 他人の幸福の促進 2. 自己本位の安楽 3. 自己の生命の保存 4. 自己の才能の開拓

問9 現代の青年期は、かつての社会に比べて長期化する傾向にある。この時期の青年は、精神的な自立を果たすための準備期間として、大人としての責任や社会的義務が社会的に部分的に猶予される。アメリカの心理学者エリクソンが提唱した、このような青年期特有の猶予期間を指す概念を何とよいか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. アイデンティティ確立 2. アイデンティティ拡散 3. アイデンティティ危機 4. 心理社会的モラトリアム

問10 インターネットやソーシャルメディアの利用が普及し、仕事と私生活の境界が曖昧になりやすい現代社会において、労働者が「時間のゆとり」を確保し、多様な生き方を選択できるようにするために推進されている、仕事と生活の調和を意味する概念を何とよいか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. ディーセント・ワーク 2. ワーク・シェアリング 3. ユニバーサル・デザイン 4. ワーク・ライフ・バランス

答え合わせ・解説 No.7

問1	答え 3 接近一回避型	同一の対象に対して、望ましい側面（接近）と避けたい側面（回避）が同時に存在し、選択に悩む状態は「接近一回避」型の葛藤に分類される。葛藤（コンフリクト）はレヴィンによって「接近一回避」型、「回避一回避」型、「接近一回避」型などに分類された。
問2	答え 2 帯グラフ	全体に対する各項目の割合（構成比率）を視覚的に示すためには、1本の帯をパーセンテージで分割して表すグラフが最も適している。時系列の変化を示すには折れ線グラフ、複数の評価項目を比較するにはレーダーチャートが用いられる。
問3	答え 1 内閣府	「国民生活に関する世論調査」は、国民の生活意識や要望を把握し、行政施策に反映させるために実施されている。この調査の実施主体は、内閣総理大臣を長とし、内閣の重要政策に関する企画立案や総合調整を担う内閣府（旧総理府など）である。1970年代後半以降、同調査において「心の豊かさ」を重視する割合が「物の豊かさ」を上回るなど、国民の価値観の変遷を示す重要な指標となっている。
問4	答え 2 社会型	シュブランガーは価値の志向性に基づいて性格を6つに分類した。そのうち、他者への同情や愛、社会への奉仕を重んじるタイプは「社会型」と呼ばれる。なお、真理の探究を重んじるのは「理論型」、実用性や経済的利益を重んじるのは「経済型」、美的な調和や表現を重んじるのは「審美型」、権力や支配を重んじるのは「権力型」、神や絶対者への帰依を重んじるのは「宗教型」である。
問5	答え 3 反動形成	自分の本心（好意など）を抑圧し、それとは正反対の態度（冷淡さや敵意など）を強調して表わせる防衛機制を反動形成と呼ぶ。これは、受け入れがたい欲求が意識にのぼるのを防ぐための無意識的な心の働きである。
問6	答え 2 松尾芭蕉	芭蕉は『奥の細道』の冒頭で人生を旅に譬え、漂泊の旅の中で自然や人々との出会いを重ね、俳諧における芸術的真理（風雅）を追求した。彼は、変化する「流行」の中にこそ不変の「不易」の本質があるという「不易流行」を説き、自己の芸術を高めた。
問7	答え 4 価値自由	マックス・ウェーバーは、社会科学が客観的な学問として自立するためには、研究者が自らの価値観（「～であるべき」という価値判断）を事実の解明（「～である」という事実認識）から区別し、後者に徹する必要があると説いた。この態度は、自らの仮説に都合の良いデータだけでなく、それに反する客観的なデータ（反証データ）をも公平に分析・検証する科学的探究の基礎となっている。
問8	答え 2 自己本位の安楽	カントは、道徳的行為の動機として、義務感からなされる行為のみに道徳的価値を認めた。自らの恐怖や心の平穏といった主観的な欲求（傾向性）を優先し、他者を蔑ろにする行為は、たとえ表面上は善を求めているように見えても、本質的には自己の保身を優先する姿勢を示している。
問9	答え 4 心理社会的モラトリアム	青年期は、精神的な自立を実現する時期であり、大人としての責任や社会的義務が部分的に猶予される心理社会的モラトリアムとしての側面を持つ。この期間を通じて、青年は自己のアイデンティティを模索し、社会に適応するための準備を行うことができる。エリクソンは、この猶予期間がアイデンティティの確立において極めて重要であると説いた。
問10	答え 4 ワーク・ライフ・バランス	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）は、過度な労働を抑制し、個人の自由時間や社会参加の機会を確保するために推進されている概念である。情報化社会の進展に伴い、常時接続環境がもたらす労働時間の長期化やストレスが課題となる中、その重要性がさらに高まっている。